

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 1 機能的・効率的なまちを形成する	款	0 2 総務費
施策	0 4 交通・港湾機能を充実する	項	0 1 総務管理費
期間	平成12年度～ 永年	目	2 7 ウェルネス費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 3 5 ウェルネス施設管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川海洋文化センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づき、民間事業者により管理運営が行われているが、子供連れの家族を中心に施設を利用する者は多い。特に、夏季におけるじゃぶじゃぶ池の利用者は大変多く、海と直に触れ合うことができる場としての本施設の持つ意義は大きい。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市民及び利用者	施設の適正な管理運営を行うとともに海洋文化に関する知識の普及を図る。	地域の人々の交流を促進する複合文化施設の役割を果たす。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		76,661	76,611		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
施設の利用者は多く満足度も高いため、引き続き施設の運営を図っていく。

※事業費と財源内訳

決算額	76,611	内訳	国費	県費	市債	他	295	一般	76,316
-----	--------	----	----	----	----	---	-----	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	街路事業に要する一般的経費		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	～ 永年	目	05 街路事業費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 街路事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	計画期間内に用地取得及び整備を完了させる。
-------	-----------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
該当路線の周辺住民及び道路利用者 (通過車両、市民)	計画期間内の供用開始を目指し、道路の改良を行う。なお、平成25年度は用地買収及び物件補償を行った。	中心市街地へ集中する交通量を効率的に分散させ、交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者・自転車の通行の安全を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		636	683		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
円滑に街路事業を執行するため、現状を維持することが適切である。

※事業費と財源内訳

決算額	683	内訳	国費	県費	市債	他	一般	683
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川中部幹線整備に係る一般的経費		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	02 道路橋梁費
期間	平成11年度～平成26年度	目	01 道路橋梁総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	025 南北道路整備事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成25年度末に兵庫県において、整備を進めていた東播磨道（第一期工事）の開通をむかえた。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）
加古川、野口、加古川北地区の道路、道路利用者（通過車両、市民）	平成26年度末の事業完了を目指し、道路改良を行う。なお、平成25年度は、道路改良工事を行った。	交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者・自転車の通行の安全を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外				

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						

事業費	千円		1,599	1,453
-----	----	--	-------	-------

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
円滑に東播磨道の北伸事業を推進するため、現状を維持することが適切である。

※事業費と財源内訳

決算額	1,453	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,453
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	先行取得用地維持補修事業（道路建設課一街路事業費）		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 1 機能的・効率的なまちを形成する	款	0 8 土木費
施策	0 4 交通・港湾機能を充実する	項	0 5 都市計画費
期間	～ 永年	目	0 5 街路事業費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 5 先行取得用地維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	事業の円滑な執行のため、公払法等により先行取得した用地について、事業及び工事着手まで期間を要することから、除草や清掃等の現場管理が必要である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
先行取得用地	先行取得した用地へのフェンス等管理施設の設置に加え、該当地の除草・清掃を行う。	事業着手までの期間における該当地への不法侵入・不法投棄を防ぐとともに、除草・清掃を行うことで土地の適正な維持管理を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		2,260	1,837		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
先行取得用地の除草・清掃等により、適正に維持管理が図られているため、現状を維持することが適切である。

※事業費と財源内訳

決算額	1,837	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,837
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路整備交通量配分等調査事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成25年度～平成25年度	目	05 街路事業費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	005 街路事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	都市計画道路網見直し後の未整備区間について、優先して整備する路線を把握する必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
未整備都市計画道路	交通量配分調査、費用便益分析の業務を委託発注する。	都市計画道路の未整備区間について、客観的評価や概算事業費の算出により、現時点での整備優先順位を検討する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
対象路線数	路線			22		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
委託発注件数	件			1		
活動指標分析結果	業務委託について、指名競争入札により委託発注を実施した。					
事業費	千円			3,780		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
委託発注済件数	件			1	1	平成25年度
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	確実に委託発注を実施し、事業進捗を図っている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響はない
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
概算事業費や整備優先順位については概ね把握でき、次期整備プログラムの基礎資料作成が完了した。

※事業費と財源内訳

決算額	3,780	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,780
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川中部幹線整備事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	02 道路橋梁費
期間	平成11年度～平成26年度	目	01 道路橋梁総務費
事業区分	⑦投資事業	細目	025 南北道路整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	平成25年度末に兵庫県において、整備を進めていた東播磨道（第一期工事）の開通をむかえた。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
加古川、野口、加古川北地区の道路、道路利用者（通過車両、市民）	平成26年度末の事業完了を目指し、道路改良を行う。なお、平成25年度は、道路改良工事を行った。	交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者・自転車の通行の安全を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
対象道路の延長距離	m	305	400	1,000		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	1,000	1,400	2,400	3,300	
活動指標分析結果	平成25年度は、年度末の供用開始に向け最終的な道路改良工事と公社買戻しを行った。					
事業費	千円	671,832	393,339	455,592		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%		92	100	100	平成25年度
	上段:計画値/下段:実績値	88	91	95		
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	平成25年度末の供用開始が実施できたため、計画どおりの進捗が図られている。					

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予算の適正な執行により、円滑に事業推進が図られた。

※事業費と財源内訳

決算額	455,592	内訳	国費	113,944	県費	市債	268,400	他	8,541	一般	64,707
-----	---------	----	----	---------	----	----	---------	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	中津水足線外1線道路改良事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成13年度～平成27年度	目	05 街路事業費
事業区分	⑦投資事業	細目	005 街路事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等	都市計画法、道路法		

【現状と課題】

現状と課題	平成26年度までの事業認可期間中に、都市計画道路平野神野線（加古川バイパスから北約530m）の用地取得を完了させる。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）
加古川地区の周辺住民及び、道路利用者（車両、市民等）	平成27年度末部分供用を目指し、道路改良を行う。なお、平成25年度は、物件調査、土地取得、物件補償を行った。	中心市街地へ集中する交通量を効率的に分散させ、交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者、自転車の通行の安全を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
対象道路の延長距離	m		530	0		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m		0	150	530	平成27年度

活動指標分析結果	平成25年度は、物件調査2件、用地買収818.47㎡、物件補償2件を行った。		
事業費	千円	83,738	254,005

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%			84	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			76	91		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	事業認可の再延伸を見据え、平成27年度末部分供用を目標として、特定財源の確保に苦慮しながら、事業を推進している。
----------	--

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	評価	内容
1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	評価	内容
6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	評価	内容
9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間の最終年度が近づくなか、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	254,005	内訳	国費	134,747	県費		市債	99,100	他		一般	20,158
-----	---------	----	----	---------	----	--	----	--------	---	--	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	神吉中津線道路改良事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成19年度～平成27年度	目	05 街路事業費
事業区分	⑦投資事業	細目	005 街路事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等	都市計画法、道路法		

【現状と課題】

現状と課題	平成27年度までに、中津水足線以北で加古川左岸線の用地取得を完了する。
-------	-------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川地区、加古川西地区の周辺住民及び道路利用者(車両、市民等)	平成27年度までに、中津水足線以北で加古川左岸線の用地取得を行う。平成25年度は、物件調査、用地取得、物件補償を行った。	中心市街地への交通の流入を容易にするとともに、加古川渡河部の慢性的な交通渋滞の解消を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
事業進捗率	%		73	85		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
今年度までに取得した用地取得率	%		73	85	100	平成27年度
活動指標分析結果	平成25年度は、3件の用地買取を行った。					
事業費	千円		72,258	175,583		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%			85	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			73	85		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	平成27年度末までに、中津水足線以北で加古川左岸線の用地を取得することを目標として、特定財源の確保に苦慮しながら、事業を推進している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間の最終年度が近づくなか、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	175,583	内訳	国費	県費	市債	157,600	他	一般	17,983
-----	---------	----	----	----	----	---------	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	県施行街路事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	～ 平成26年度	目	05 街路事業費
事業区分	⑦投資事業	細目	005 街路事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	地方財政法第27条第1項		

【現状と課題】

現状と課題	事業者である兵庫県が、確実に事業進捗を図っている。
-------	---------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)				意図 (どのような状態にする)	
兵庫県	工事負担金を支出する。				兵庫県実施の街路事業の進捗を図る。	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
兵庫県		団体		1	1	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
負担件数		件		1	1	1 平成26年度
活動指標分析結果	平成25年度は、事業者である兵庫県に対して工事負担金を執行した。					
事業費		千円		290,885	103,924	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
負担済件数		件			1	1 平成26年度
				1	1	
成果指標分析結果	確実に負担金の執行を行っている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 負担金の適正な執行により、円滑に事業推進が図られた。
--

※事業費と財源内訳

決算額	103,924	内訳	国費	県費	市債	93,500	他	一般	10,424
-----	---------	----	----	----	----	--------	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	良野平岡線道路改良事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成21年度～平成25年度	目	05 街路事業費
事業区分	⑦投資事業	細目	005 街路事業
地区別	野口地区		
関連根拠法令等	都市計画法、道路法		

【現状と課題】

現状と課題	兵庫県において、東播磨南北道路の延伸路線として国道2号以南の都市計画道路尾上小野線の整備が平成25年度末の完成を目標に進められている。市道旧県道二見加古川線の交通安全対策として、市道良野平岡線を尾上小野線まで延伸整備する。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
野口地区の周辺住民及び、道路利用者(通過車両、市民)	平成25年度は、道路改良工事を行った。	交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者・自転車の通行の安全を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
対象道路の延長距離	m		0	115		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m		0	115		

活動指標分析結果	平成25年度は、道路改良工事を行った。		
事業費	千円	204,265	97,936

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%			5	100	平成25年度
上段:計画値/下段:実績値			95	100		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	計画どおりの進捗が図られ、事業が完了した。
----------	-----------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
予算の適正な執行により、円滑に事業推進が図られ、事業が完了した。

※事業費と財源内訳

決算額	97,936	内訳	国費	49,692	県費	市債	36,700	他	一般	11,544
-----	--------	----	----	--------	----	----	--------	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	新統合病院周辺整備事業（道路建設課）		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 1 機能的・効率的なまちを形成する	款	0 2 総務費
施策	0 4 交通・港湾機能を充実する	項	0 1 総務管理費
期間	平成22年度～平成26年度	目	0 7 企画費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 4 6 病院統合・再編事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	関係機関協議が全て整い、用地買収・物件補償についても地権者と契約済であり、平成25年度にJR山陽本線から国道2号方面の430m区間について工事発注し、平成26年度早期の事業完了を予定している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）
加古川地区の道路、及び道路・病院施設利用者（車両、市民等）	平成26年度早期完了を目指し、新統合病院への主アクセス道路の改良事業を行う。なお、平成25年度は、道路改良工事を実施した。	新統合病院への主アクセス道路の整備により、アクセス性の向上を図るとともに、近隣地区内道路への車両進入増加を防止する。また、歩道整備による自転車・歩行者の通行の安全を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
対象道路の延長距離（事業費按分）	m			380		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
整備済道路延長（事業費按分）	m			380	430	平成26年度

活動指標分析結果	平成25年度は道路改良工事を行った。			
事業費	千円			133,013

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
工事発注件数	件			1	1	平成26年度
道路事業進捗率	%			89	100	平成26年度

成果指標分析結果	平成26年度早期の事業完了に向けて、確実に事業を推進している。
----------	---------------------------------

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
過年度において関係機関との協議を完了させ、用地買収、物件補償、及び工事発注共に実施済であり、引き続き早期事業完了に向けた円滑な事業進捗を維持する。

※事業費と財源内訳

決算額	133,013	内訳	国費	県費	市債	119,700	他	一般	13,313
-----	---------	----	----	----	----	---------	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	港湾維持補修事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 1 機能的・効率的なまちを形成する	款	0 8 土木費
施策	0 4 交通・港湾機能を充実する	項	0 4 港湾費
期間	昭和49年度～ 永年	目	0 1 港湾管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 5 港湾維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	港湾法		

【現状と課題】

現状と課題	維持・管理を池田水利組合に委託しているが、昭和49年より協定により委託料が変わっていない。また、樋門についても老朽化が進んでいる。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)	
排水樋門等の港湾関係施設	排水樋門や常夜灯の維持、補修及び管理	安全な港湾を維持する	
対象指標			
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外	単位	平成23年度	平成24年度
活動指標			
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外	単位	平成23年度	平成24年度
事業費			
	千円	7,758	12,180
成果指標			
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外	単位	平成23年度	平成24年度

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
県が主体の事業なので、補修料等の予算措置を依頼する。

※事業費と財源内訳

決算額	12,180	内訳	国費	県費	3,279	市債	他	一般	8,901
-----	--------	----	----	----	-------	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	港湾統計調査事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	04 港湾費
期間	昭和22年度～永年	目	01 港湾管理費
事業区分	④義務的施策事業	細目	010 港湾統計調査事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	統計法・港湾調査規則		

【現状と課題】

現状と課題	平成21年10月30日調査港湾の全面見直しや、陸上出入貨物調査及び上屋・倉庫・貯留場調査の廃止等を行い、調査の合理化を行った
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
東播磨港の施設利用者	施設利用状況を利用者から報告を求め、基幹統計「港湾統計」として集約し、港湾管理者へ月ごとに報告する。	正確な報告を受ける。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		27	63		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
県からの決められた統計事務なので市での改革の余地はない。

※事業費と財源内訳

決算額	63	内訳	国費	県費	63	市債	他	一般
-----	----	----	----	----	----	----	---	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	港湾振興及び保全対策事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	04 港湾費
期間	昭和49年度～永年	目	01 港湾管理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 港湾振興及び保全対策事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	港湾法		

【現状と課題】

現状と課題	別府地区と尾上地区の港湾があり、現在、東播磨港湾計画(平成10年改定)に基づき浚渫や防波堤整備が進められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
港湾利用者の安全・振興を図る。	各種港湾関係団体との連携を深め、東播磨港の安全・振興を図る。	不具合なく快適に利用してもらう。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
港湾清掃参加者	人		210	205		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
港湾清掃参加者	人		210	205	220	
活動指標分析結果	港湾の安全や景観を維持するため町内会や漁業組合、市職員で協力しあい港の清掃を行っており、活動として妥当なものとする。					
事業費	千円		580	617		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
港湾清掃参加者	人			220	220	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			210	205		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	毎年同じ位の人数で行っており、一定の水準を維持しており、妥当なものとする。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
港湾整備の充実には東日本大震災以降特に関心が高まっている事業であるため継続していくことが妥当である。

※事業費と財源内訳

決算額	617	内訳	国費	県費	市債	他	一般	617
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	都市計画道路網見直し事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	04 交通・港湾機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	～ 平成27年度	目	10 計画調査費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	025 市域都市施設調査事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	都市計画法		

【現状と課題】

現状と課題	拡大成長社会から成熟型社会への移行、人口減少・少子超高齢社会の進行など社会経済情勢の変化等に対応した幹線道路ネットワークの構築が必要。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市内全域	兵庫県策定の「都市計画道路見直しガイドライン」に基づき都市計画道路の変更・廃止等の対象路線を抽出、公表、都市計画素案を作成し、対象区域の市民への説明会を行い、法に基づく縦覧などにより意見聴取を行うなど、都市計画手続きを行う。	社会情勢の変化や地域の交通特性、土地利用の状況などを踏まえ、必要性に変化が生じた長期未着手の都市計画道路網を見直し、機能的・効率的な魅力ある都市の実現を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
都市計画道路	km		137.27	138.69		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
関係機関と意見調整した回数	回		5	10	10	

活動指標分析結果	見直しガイドラインに基づき、平成25年度中に実施する予定の作業工程は完了した。		
事業費	千円	1,460	3,455

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
都市計画道路見直し対象路線の抽出	式			1	1	平成25年度
上段:計画値/下段:実績値			0	1		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	見直し対象路線の抽出は完了した。
----------	------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 地域の将来像や交通環境の変化、将来交通需要などを総合的に勘案し、幹線道路ネットワークの見直しの必要がある。又、その決定にあたっては、市民等への公表が重要である。
--

※事業費と財源内訳

決算額	3,455	内訳	国費	1,150	県費		市債		他		一般	2,305
-----	-------	----	----	-------	----	--	----	--	---	--	----	-------